

# 専 門 実 践 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	医療専門課程(看護師3年課程)		
実施方法	① 通学 ( 昼間・夜間・土日 ) ② 通信 スクーリング(回数 回)		
指定講座番号(15桁)	1910004	—	1610011 — 2
講座の創設年月日 年月日	専門実践教育訓練給付金 対象講座の指定期間 令和7年3月31日まで	過去一 年の講 座実績	入講者数( 45 人) 修了者数 ( 38 人)
訓練期間	36ヶ月	総訓練時間	3015時間
<b>1. 教育訓練目標</b>			
①取得目標とする資格の名称、目標レベル	<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 ( 看護師 ) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 ( ) <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学院 ( ) <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム ( ) <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 ( ) <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 ( ) <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 ( ) 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等		
②①に係る資格・試験等の実施機関名称	厚生労働省		
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等	本校に3年以上在籍し、3015時間を履修し、卒業単位(108単位以上)を修得したことにより卒業が認定されること、かつ保健師助産師看護師法(昭和23年法律第203号)21条3項及び保健師助産師看護師学校養成所指定規則(昭和26年8月10日文部省・厚生省令第1号)第4条に基づき、厚生労働大臣が省令で定める科目及び単位を修得すること		
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況	医療施設及び介護事業所における看護師業務 医療業界、介護事業業界において高い需要がある		
<b>2. 教育訓練の内容</b>			
教科 (カリキュラム)	時間	使用教材名	
別紙「授業科目および単位数」とおり	3015	別紙「教科書一覧」とおり	
<b>3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)</b>			
①受講するに当たって必要な実務経験等	なし		
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準	高等学校卒業程度		
③その他			
〔特記事項〕			

# 専門実践教育訓練明示書

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況					
<b>(1) 資格取得状況</b>					
① 前年度の修了者数	38	人			
② ①に係る教育訓練の入講者数	42	人			
③ ②のうち目標資格の受験者数	38	人	受験率(③/②)	90.5	%
④ ③のうち合格者数	36	人	合格率(④/③)	94.7	%
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	35	人			
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人			
※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。 この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含まない。					
※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。					
<b>(2) 受講修了者による講座の評価等</b>					
① 回答者総数	38	人			
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	人			
	2 非正社員、派遣社員	人			
	3 その他の就業(自営業等)	人			
	4 非就業	38	人	②B: 非就業者計	0
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)		
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	人			
	3 社内外の評価が高まる	人			
	4 円滑な転職に役立つ	人			
	5 趣味・教養に役立つ	人			
	6 その他の効果	人			
	7 特に効果はない	人			
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	4	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)		
	2 希望の職種・業界で就職できる	34			
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	人			
	4 趣味・教養に役立つ	人			
	5 その他の効果	人			
	6 特に効果はない	人			
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	35	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)		
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	0			
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	0			
	4 就職していない	3			
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	30	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)		
	2 おおむね満足	6			
	3 どちらとも言えない	2			
	4 やや不満	0			
	5 大いに不満	0			
(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)					
上記⑤「就職していない」は進学のため					
<b>5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法</b>					
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	授業科目は「筆記試験」「総合評価」「レポート」のいずれかによる 学院学生細則第4条3項(評価方法)				
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数					

# 専門実践教育訓練明示書

<b>6. 受講効果の把握方法</b>			
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	科目ごとに講義時間の3分の2以上の出席、各臨地実習ごとに5分の4以上の出席、科目ごとの試験及び各臨地実習において100点満点中60点以上の得点の者に単位を授与する(本校学則21条2項)		
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	「筆記試験」「総合評価」「レポート」により評価する 学院学生細則第4条3項(評価方法)		
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	欠席日数が出席すべき日数の3分の1を超えない者。各科目とも3分の2以上の出席をもって評価を受けることができる。臨地実習は5分の4以上の出席をもって評価を受けることができる。各授業科目及び臨地実習において100点満点中60点以上の得点により単位を授与する。修得すべき単位をすべて修得したものが卒業できる。(本校学則21条1項)		
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	「筆記試験」「総合評価」「レポート」により評価する 学院学生細則第4条3項(評価方法)		
<b>7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法</b>			
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	クラス担任制度をとり、担任は面接を年度初め、試験終了時、実習前後に実施して、個別状況を把握しタイムリーな支援を行っている。学習状況に応じて小グループまたは個別学習支援を年間を通して実施している。		
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	1)各学年におけるキャリアガイダンスの実施 2)進路相談窓口担当者の明確化 3)インターンシップ等への積極的参加の支援 4)就職情報の開示		
<b>8. その他の事項</b>			
指定教育訓練実施者名及び代表者名	公益社団法人山梨勤労者医療協会 (代表者名:深沢 眞吾)		
住所及び連絡先	山梨県甲府市市1丁目9-1 TEL 055-222-6616		
施設名称及び施設長名	共立高等看護学院 (施設長:内藤 恵一)		
住所及び連絡先	山梨県甲府市飯田3丁目1-35 TEL 055-228-7325		
苦情受付者	氏名 浅川 雄一 所属 事務長	事務担当者	氏名 芹澤みゆき 所属 事務課
連絡先	TEL 055-228-7325	連絡先	TEL 055-228-7325
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,611,500 円
支払い方法	① 一括払	① 入学料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	200,000 円
	② 分割払 ③ 両方可能	② 受講料(税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)	円 第1期 240,500 円 第2期 230,000 円 第3期 240,500 円 第4期 230,000 円 第5期 240,500 円 第6期 230,000 円 (うち、必須教材費 円)
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		554,372 円
	① 任意の教材費(税込額)		195,872 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		円
	③ 施設維持費(税込額)		150,000 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代)(税込額)		208,500 円
	3. 総額 (1+2) (税込額)		2,165,872 円

## 授業科目および単位数

学則第6条

授業科目および単位数 (時間数)				
授業科目		履修 単位	履修 時間数	
基礎 分野	科学的思考の基盤			
	物理学	1	20	
	哲学	1	30	
	統計学	1	30	
	社会学	1	30	
	人間と生活・社会の理解			
	心理学	1	30	
	教育学	1	30	
	社会の中の倫理	1	30	
	ベッドサイドの倫理	1	30	
	平和と人権	1	30	
	英語	1	15	
	※ 世界の言語 (中国語 韓国語 スペイン語)	1	15	
	※ 芸術 (音楽・美術・写真)	1	15	
	※ 野外活動1 (キャンプ・スキー)	1	20	
※ 野外活動2 (キャンプ・スキー)	1	20		
※ 野外活動3 (キャンプ・スキー) ※選択	1	20		
小 計		15	365	
専門 基礎 分野	人体の構造と機能			
	看護生物学	1	15	
	解剖生理学 I	1	30	
	解剖生理学 II	1	30	
	解剖生理学 III	1	20	
	解剖生理学 IV	1	30	
	解剖生理学演習	1	15	
	生化学	1	15	
	疾病の成り立ちと回復の促進			
	病気のしくみ	1	15	
	疾病論 I 運動・脳神経・アレルギー疾患と治療	1	30	
	疾病論 II 呼吸器・循環器・血液の疾患と治療	1	30	
	疾病論 III 消化器疾患と治療	1	30	
	疾病論 IV 代謝・内分泌・腎・泌尿器疾患と治療	1	30	
	微生物学	1	30	
	薬理学	1	30	
	栄養学	1	15	
	臨床検査と放射線検査	1	30	
			16	395
	健康支援と社会保障制度			
	医療の歴史と発展	1	15	
	医療を取り巻く社会	1	15	
	公衆衛生学	1	15	
ヘルスプロモーション	1	15		
社会福祉制度	1	15		
社会福祉演習	1	30		
		6	105	
小 計		22	500	

授業科目		履修 単位	履修 時間数
専門 分野	基礎看護学		
	看護学入門	2	45
	看護職とキャリア	1	30
	ナースクリエイティブ	1	30
	看護理論	1	15
	健康的な日常生活を促進する援助技術 ①食事 ②排泄 ③清潔	2	60
	快適に過ごすための援助技術 ①環境 ②運動・活動・休息・リラクゼーション	1	30
	治療・処置に伴う援助技術	1	30
	フィジカルアセスメント	1	30
	看護過程	1	15
	臨床判断演習	1	30
	看護の探求	2	45
		14	360
	地域・在宅看護論		
	私たちの地域と生活	1	30
	地域の暮らしを支援する法と制度	1	30
	地域で生活する人の心の理解	1	15
	地域看護	1	30
	多職種や地域とつながる看護	1	30
在宅看護	1	15	
	6	150	
成人看護学			
成人期にある人の理解	1	30	
成人期にある人の疾病予防と看護	1	15	
健康を害した人への看護Ⅰ	2	45	
①病気別看護 ②呼吸器疾患のある人の看護 ③消化器疾患のある人の看護			
④循環器疾患のある人の看護			
健康を害した人への看護Ⅱ	1	30	
①内分泌・代謝疾患のある人の看護 ②脳神経疾患のある人の看護			
③血液疾患のある人の看護 ④腎・泌尿器疾患のある人の看護			
周手術期看護・がん看護	1	30	
	6	150	
老年看護学			
老年期にある人の人権と法律	1	15	
老年期にある人の理解	1	30	
老年期にある人への看護	1	30	
	3	75	
小児看護学			
子どもの人権と社会	1	15	
子どもの病気	1	30	
子どもの病気と障がいに対する看護	1	30	
	3	75	
母性看護学			
ウィメンズヘルス	1	30	
周産期にある人の理解	1	30	
周産期ある人への看護	1	30	
	3	90	
精神看護学			
心の病気と治療	1	30	
対人関係論	1	30	
心病む人への看護	1	30	
	3	90	

授業科目		履修 単位	履修 時間数
専門分野	看護の統合と実践 国際看護学・災害看護学 医療安全 看護情報とICT 看護の統合演習	1 1 1 1	30 15 15 20
		4	80
	領域横断科目 連続した看護 人間の発達と看護 終末期と看護 薬物療法と看護 保健指導技術 リハビリテーションと看護	1 1 1 1 1	15 15 15 30 15
		5	90
	臨地実習 基礎看護学 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅲ	1 1 2	45 45 90
		4	180
	地域・在宅看護論 地域看護学実習Ⅰ 地域看護学実習Ⅱ	1 1	30 45
		2	75
	成人看護学 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ 老年看護学 老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅲ	2 2 1 2 1	60 90 45 90 45
		8	330
専門分野	小児看護学 小児看護学実習Ⅰ 小児看護学実習Ⅱ	1 1	30 45
		2	75
	母性看護学 母性看護学実習	2	75
		2	75
	精神看護学 精神看護学実習Ⅰ 精神看護学実習Ⅱ	1 1	30 45
		2	75
	看護の統合と実践 看護の統合と実践実習Ⅰ 看護の統合と実践実習Ⅱ 看護の統合と実践実習Ⅲ	1 1 2	45 45 90
		4	180
	小 計	71	990
	合 計	108	3015

※選択必須科目 各科目 一つ選択

世界の言語 : ・スペイン語 ・中国語 ・韓国語  
 芸術 : ・美術 ・音楽 ・写真  
 野外活動1・2・3 : ・キャンプ ・スキー

2024年度教科書一覧

No.	書籍名	改定年度	版	出版社	科目
1	看護に必要なややりなおし数学・物理			照林社	物理学
2	看護系で役立つ生物の本 西沢いずみ・有本淳一著			化学同人	看護生物学
3	系統看護学講座 人体の構造と機能 [1] 解剖生理学	2022		医学書院	解剖生理学 I ~ IV (解剖生理学 I・II、解剖生理学演習)
4	系統看護学講座 人体の構造と機能 [2] 生化学	2019		医学書院	生化学
5	2023年版『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック			医学書院	解剖生理学
6	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [4] 微生物学	2022		医学書院	微生物学
7	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [3] 薬理学	2022		医学書院	薬理学
8	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [1] 病理学	2021		医学書院	病気のしくみ (病理学 I)
9	系統看護学講座 疾病の成り立ちと回復の促進 [2] 病態生理学	2023		医学書院	解剖生理学 I ~ IV・解剖生理学演習 解剖生理学 I・II、解剖生理学演習
10	新体系看護学講座 健康支援と社会保障制度① 医療学総論	2021		メヂカルフレンド	医療の歴史と発展・医療を取り巻く社会 (保健医療論)
11	新体系看護学全書基礎看護学①看護学概論	2022		メヂカルフレンド	看護学入門 (看護学概論 I・II)
12	看護覚え書 [第8版]			現代社	看護学入門 (看護学概論 I)
13	看護学テキスト看護理論看護理論21の理解と実践への応用		第3版	南江堂	看護理論・看護学入門
14	系統看護学講座 基礎看護学 [2] 基礎看護技術I 動画付	2023		医学書院	看護学入門・看護過程 (基礎看護技術)
15	系統看護学講座 基礎看護学 [3] 基礎看護技術II 動画付	2021		医学書院	援助技術 3科目全般
16	フィジカルアセスメント ガイドブック		第2版	医学書院	フィジカルアセスメント
17	系統看護学講座 成人看護学 [1] 成人看護学総論	2022		医学書院	ヘルスプロモーション 成人期の授業
18	系統看護学講座 老年看護学	2018		医学書院	老年期にある人の人権と法律 老年期にある人の理解
19	系統看護学講座 老年看護病態・疾患論	2018		医学書院	老年期にある人への看護
20	看護のための人間発達学		第5版	医学書院	人間の発達と看護
21	新訂 目でみるからたのメカニズム		第二版	医学書院	全科目
22	看護過程に沿った対症看護		第5版	学研	看護過程・実習
23	看護技術プラクティス		第4版	学研	看護技術
24	系統看護学講座 成人看護学 [10] 運動器	2019		医学書院	疾病論 I (運動器疾患と治療)
25	系統看護学講座 成人看護学 [7] 脳・神経	2024		医学書院	疾病論 I (脳神経疾患と治療) 健康を害した人の看護 II (脳神経)
26	系統看護学講座 成人看護学 [11] (アレルギー 膠原病 感染症)	2020		医学書院	疾病論 I (アレルギー疾患と治療)
27	系統看護学講座 成人看護学 [2] 呼吸器	2024		医学書院	疾病論 II・健康を害した人への看護 I (呼吸器疾患・看護)
28	系統看護学講座 成人看護学 [3] 循環器	2024		医学書院	疾病論 II・健康を害した人への看護 I (循環器疾患・看護)
29	系統看護学講座 成人看護学 [4] 血液・造血器	2024		医学書院	疾病論 II (血液疾患・看護)、健康を害した人の看護 II (血液)
30	系統看護学講座 成人看護学 [5] 消化器	2024		医学書院	疾病論 III (消化器疾患と治療)、健康を害した人への看護 I
31	系統看護学講座 臨床外科看護学総論	2023		医学書院	疾病論 III (消化器疾患の外科的治療)、周手術期看護
32	系統看護学講座 臨床外科看護学各論	2023		医学書院	疾病論 III (消化器疾患の外科的治療)、周手術期看護
33	系統看護学講座 成人看護学 [6] 内分泌・代謝 動画付	2024		医学書院	疾病論 IV (内分泌疾患・看護)、健康を害した人の看護 II (内分泌・代謝)
34	系統看護学講座 成人看護学 [8] 腎・泌尿器	2024		医学書院	疾病論 IV (腎疾患・看護) 健康を害した人の看護 II (腎・泌尿器)
35	系統看護学講座 別巻 臨床放射線医学	2021		医学書院	臨床検査と放射線検査 (成人臨床看護 I 放射線医学)
36	系統看護学講座 別巻 臨床検査	2023		医学書院	臨床検査と放射線検査 (成人臨床看護 I 臨床検査)



37	ナーシング・グラフィカ 健康支援と社会保障② 公衆衛生	2023	メデिका出版	公衆衛生学・地域・在宅看護論・ヘルスプロモーション
38	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度③ 社会保障・社会福祉	2024	医学書院	地域の生活を支援する法と制度・地域で生活する人の理解
39	系統看護学講座 地域・在宅看護論① 地域・在宅看護の基盤	2022	医学書院	地域・在宅看護論 2022年より教科書変更決定 (ナーシンググラフィカ→医学書院)
40	系統看護学講座 別巻 看護情報学〔年改訂〕動画付き	2021	医学書院	看護情報とICT
41	ナーシング・グラフィカ看護の統合と実践(2)：医療安全	2023	メデिका出版	医療安全
42	精神看護学1 精神看護学概論、精神保健	2020	メヂカルフレンド社	地域で生活する人の理解
43	系統看護学講座 小児看護学〔1〕小児看護学概論/小児臨床看護総論 動画付	2020	医学書院	子どもの人権と社会
44	系統看護学講座 別巻 看護研究	2023	医学書院	統計学・看護の探求(看護研究)
45	国民衛生の動向 2024/2023 (厚生省の指標2024年8月増刊)		一般財団法人 厚生労働統計協会	私たちの地域と生活
46	クリスティーンのやさしい看護英会話 知念クリスティーン 上瀧真紀恵		医学書院	英語 新カリリにより1年次→2年次へ
47	系統看護学講座 母性看護学〔2〕母性看護学各論 動画付き	2021	医学書院	周産期にある人の理解 周産期にある人への看護
48	系統看護学講座 母性看護学〔1〕母性看護学概論	2021	医学書院	ウイメンズヘルス
49	系統看護学講座 成人看護学〔9〕(女性生殖器)	2019	医学書院	周産期にある人の理解
50	系統看護学講座 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論	2020	医学書院	子どもの病気・子どもの病気と障がいに対する看護
51	系統看護学講座 別巻 がん看護学	2022	医学書院	周手術期・がん看護
52	リハビリテーション看護論	第3版	HIROKAWA	リハビリテーションと看護
53	系統看護学講座 精神看護学1 精神看護の基礎	2021	医学書院	薬物療法と看護 リハビリテーションと看護
54	系統看護学講座 精神看護学2 精神看護の展開	2021	医学書院	薬物療法と看護 リハビリテーションと看護
55	経過別成人看護学④ 終末期看護：エンド・オブ・ライフ・ケア		メヂカルフレンド社	終末期と看護
56	系統看護学講座 健康支援と社会保障制度〔3〕 社会保障・社会福祉	2024	医学書院	社会福祉制度 社会福祉演習
57	系統看護学講座 基礎分野 社会学	2024	医学書院	社会学
58	系統看護学講座 別巻 栄養食事療法	2020	医学書院	栄養学
59	ナーシンググラフィカ 看護管理〔年度改訂〕	2023	メデिका出版	看護管理